

来年は治安維持法発効100年の年



いまこそ会員増やして
黄色い署名をひろげる

同盟運動の出番！

4月1日～6月30日を

会員拡大特別期間に

吉田万三 同盟中央本部会長は2月15日開かれた中央常任理事会の冒頭あいさつの中で、「世界と日本が大きな転換期を迎えるなかで、私たち同盟も否応なく転換期を迎えていきます。具体的に言えば、同盟構成員の大半は戦後の世界を生き抜いてきた世代です・・・次の世代に

この運動をどう引き継いでいくのかを真剣に考えるときです・・・国賠同盟の存在を再定義する時が来ています。来年2025年は治安維持法発効100年の年です。次の42回全国大会にかけて議論を開始したいと考えています・・・」と発言されました。

100年前発効された悪法によって弾圧され犠牲となつた先人たちのは戦後の世界を生き抜いてきた世代で柱に掲げた同盟運動は決して色褪せるものではありません。

戦争と弾圧が同時に足早に迫っているいまこそ会員拡大も黄色い署名もひろげることが求められている、同盟運動の出番の時だと痛感しています。

人権回復のたたかいは過去の問題解決のみに終わらない、100年経つてもいまだ民主主義・人権確立が世界の中でも大きく遅れている日本の状況を見れば、同盟運動は今を生きる私たちの人権回復も重ねてたたから、これから時間をかけたから、これから時間をかけ丁寧に「同盟の存在を再定義する」議論を提起されたことに大賛成です、私はそのように受けとめました。

(副会長 古谷 道代)

連載企画「自由と人権・平和をわが人生に重ねて」は、筆者の白石道夫さんの健康上の都合によりしばらく休みます。

6月9日～10日第41回全国大

滋賀県版No.362

2024・3・15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒113-0034
東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・
全労連会館

発行

滋賀県本部

大津市竜が丘11-22-316
☎077-521-0884
袖口 延

3月1日現在
会員 331人 (目標350人)
個人署名 1480筆 (目標5,000筆)
団体署名 22筆 (目標150筆)

同盟」を一日も早く実現しようと、大の特別期間」が提起されました。滋賀県は7月6日開かれる第36回県総会に向けて「会員400人を達成しよう」と取り組みを強めているところです。現在会員数331人、目標達成まで残り69人です。「黄色い署名」の2024年の国会請願行動は5月15日(水)に予定されています。滋賀県の署名目標は5000筆です。国会請願まで残り約2ヶ月、今年こそ目標やりきりましょう。

全支部・全会員行動で会員と署名目標をやりきり、全国大会と滋賀県本部総会を元気に迎えましょう!

支部だより

湖北支部

2024年湖北・多喜二祭の取り組みについて

隔年で取り組まれている湖北多喜二祭は今年24年が実施年であり、去る3月3日（日）、毎月幹事会を行っているびわ文化学習センター（リユートプラザ）で開催されました。内容はDVD「わが青春に悔いなし」の鑑賞です。参加者は17人。上映は、「ご自身で映写機器とスクリーンを所有しておられる国賛同盟会員の方にお願いしました。ここで改めて感謝申し上げたいと思います。

この取り組みは昨年11月の幹事会で、日時・場所を決めることが始まりました。続く12月の幹事会では内容をDVD鑑賞とすることが決まり、その内容は24年1月の幹事会で決定すること、また

本部所有のDVDを検討し、内容を映画「わが青春に悔いなし」とすることが決りました。

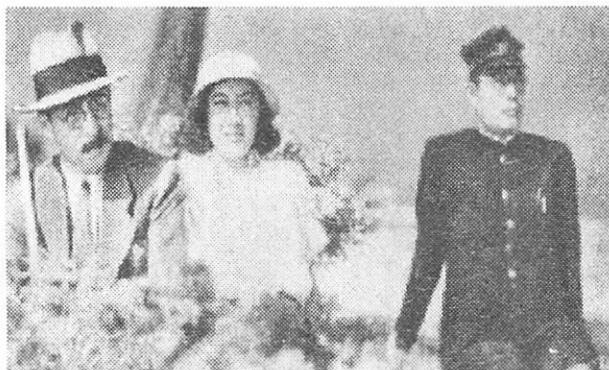
この映画は1946年公開の作品で、監督は黒澤明、主演は原節子です。京大事件（滝川事件）における滝川幸辰とゾルゲ事件における尾崎秀実をモデル化したフィクションで、軍国主義の下、弾圧される教授と学生たちの師弟関係や、そんな時代に自我に目覚めていく女性を描いたものです。女性は教授の娘で学生の一人と結婚しますが、この夫がスペイとして逮捕され獄死します。女性は夫の実家で農民として生きていく決意をするのですが、これを描いた終わりのシーンは、戦争も終わり新しい時代が始まることと重ね合わさられて感動的なものになっていました。

惜しまずには映画が古く、DVD原版自身が音声不明瞭で、セリフが

「湖北版不屈」2月号で開催を知らせ、2月20日頃に赤旗日刊紙に案内チラシを入れることも決まりました。そして1月の幹事会では県

でもシーンの展開で筋はなんとか分かりますが、よく聞き取れることです。それ

（事務局長 池田安廣）



左から大河内傳次郎、原節子、藤田進

未だ観ていない、もう一度観たい方へ
映画「わが青春つくるとも 伊藤千代子の生涯」

日時 3月30日（土） 13時30分から

場所 勤労者総合福祉センター

・ウェルネス八日市

連絡先 竹腰宏見さん

電話 090-8162-8865

多喜二忌、3・15弾圧事件を
忘れないために
映画「きけわだつみの声」
DVD上映会のお知らせ
(1950年公開)

4月20日（土）14時から
膳所診療所・かざぐるま会館
2階（京阪錦駅徒歩1分）

入場無料
主催・大津支部

日名子元雄さんのこと

副会長 西田 清

(前記文書)。

第95回山宣墓前祭 「戦争撲滅のため奮闘せよ!」

(山宣のことば)

『歴史公文書が語る湖国 明治・大正・昭和の滋賀県』(滋賀県公文書館編)をしばらく気味に手に取つてみた。ページを繰ると、「梵鐘を守つた文化財技師」があり、その人が日名子元雄さん(同文書は「ひなごもとお」と記しているが、本当は「ひなこもとお」さんである。私はちはそう呼んでいた)だと知つた。そしてそれを誇りに思つた。日名子さんが日本共産党員たつたことを私は、知つている。

少し経過を記すと、一九四二年以降、寺院の梵鐘を半強制的に集めて、兵器に再生された(「不要仮具献納運動」)。この時、「昭和十七年度第二期金属類特別回収実施要綱」の例外規定を活用して、三十一件の「金属回収除外申請」を出したのが、当時の文化財技師・日名子元雄さんだった。これに対し国策協力団体と県庁内政部地方課長が「横槍」を入れてきた(前記

文書による)が、これは認められなかつた。こうしてこれらの文化財は、今も文化財として保存されている。この結果は日名子さんの功績と言つてよい。

ところが一九四三年四月、日名子さんに召集令状が届きました。「高等文官の地位にあつた日名子さんが敗戦による復員まで、一等兵から先へ昇進しなかつたといわれる軍歴は異常」(前記文書)だつた。

しかし「幸い、日名子自身は戦後無事に復員し、県内の文化財建造物修理工事の監督責任者として活躍しました。さらに奈良県、次いで国へと転任し、文化庁建造物課長を務めた後、財

選挙活動に参加していたことを現わしている。県庁のかなり高い地位にありながら、日名子さんはこのように謙虚に党活動に参加していた。温厚な日名子さんは、日電の江崎一治さん(のちに代議士)、津田平太郎さん(済生会滋賀病院副院長)と並ぶ滋賀県党の知識人党員であつた。

山本宣治の命日である3月5日、宇治市の善法墓地で、第95回目の墓前祭が行われました。大粒の雨の降るなか、200人近くが参加しました。参加者が墓前にて山宣の遺志を引き継ぎ、たたかうことを誓いました。最後に遺族を代表して孫の山本勇治さんが挨拶をしました。

(写真)

少し経過を記すと、一九四二年以降、寺院の梵鐘を半強制的に集めて、兵器に再生された(「不要仮具献納運動」)。この時、「昭和十七

年度第二期金属類特別回収実施要綱」の例外規定を活用して、三十一件の「金属回収除外申請」を出したのが、当時の文化財技師・日名子元雄さんだった。これに対し国策協力団体と県庁内政部地方課長が「横槍」を入れてきた(前記

文書による)が、これは認められなかつた。こうしてこれらの文化財は、今も文化財として保存されている。この結果は日名子さんの功績と言つてよい。

ところが一九四三年四月、日名子さんに召集令状が届きました。「高等文官の地位にあつた日名子さんが敗戦による復員まで、一等兵から先へ昇進しなかつたといわれる軍歴は異常」(前記文書)だつた。

しかし「幸い、日名子自身は戦後無事に復員し、県内の文化

財建造物修理工事の監督責任者として活躍しました。さらに奈良県、次いで国へと転任し、文

化庁建造物課長を務めた後、財

選挙活動に参加していたことを現わしている。県庁のかなり高い地位にありながら、日名子さんはこのよう

に謙虚に党活動に参加していた。温厚な日名子さんは、日電の江崎一治

さん(のちに代議士)、津田平太郎

さん(済生会滋賀病院副院長)と並ぶ滋賀県党の知識人党員であつた。

年当時に日本共産党滋賀県委員長だった馬渕薰さんの追悼集『回想・馬渕薰』(一九八八年刊)にかなり長い「馬渕氏へのラブコール」という文章を寄せている。二人で石和温泉に出かけた時の思い出である。

そこで日名子さんは「馬渕氏は、かなり古い時代に彼の選挙応援演説を聞いたことがある。その迫力はかなりのものだつたという記憶がある。しかし演説とはちがつて、座談も巧みで、話題も豊富だから、相手から彼自身のねらうテーマを導き出すことも巧みで、私なども、いつの間にか彼の話の流れの中にまきこまれてしまうのである」

この文章は、日名子さんが、党の選挙活動に参加していたことを現わしている。県庁のかなり高い地位にありながら、日名子さんはこのよう

に謙虚に党活動に参加していた。温厚な日名子さんは、日電の江崎一治

さん(のちに代議士)、津田平太郎

さん(済生会滋賀病院副院長)と並ぶ滋賀県党の知識人党員であつた。



治安維持法体制下での抵抗の群像・滋賀②

甲賀出身の糸田（清水）律と中村（辻）千代

副会長 高田直樹

I 糸田律と清水平九郎

糸田律については、西田清さんが『不届』でも何回か書かれているので、簡単に紹介します。

糸田律は1908年に甲賀郡大原村で糸田捨次郎の四女として生まれます。同志社女学校専門学部に入学、在学中に栗原とし子らとともに社会科学研究会に参加し、1927年3月の女子学連結成で「関西責任者」となりました。この年の9月に父捨次郎は、男子普選選挙施行後に初めて実施された県議員選挙に当時政権与党だった政友会から出馬し、当選しています。

糸田律は1928年9月8日、3・

15事件後の「中間検挙」で、京都市内の下宿先から西陣署に引致されました。釈放後東京に出て、野坂参三が主事を務める産業労働調査所に勤務します。

夫となる清水平九郎とは社研活動の中で知り合いました。清水平九郎は長浜生まれの明治学院生で入学後明治学院社会科学研究会に加入し、関東学連の常任委員長を務めています。平九郎は何度も検挙されます。

1926年1月「学連事件」で検挙。その後労農党、共産党に入党し、1928年3・15事件のあと7月に検挙され、さらに翌年4・16事件でも検挙されて、市ヶ谷刑務所で三年間服役します。

1932年平九郎が出所した直後に二人は結婚しました。結婚後は神戸市でゴム製品輸出業を営む平九郎の両親と夫婦で同居し家業に従事しました。二人はこの神戸時代も常に特高の監視下に置かれていました。平九郎は1940年9月、「党再建準備関係」で兵庫県警特高に神戸市で検挙されています。

頭 坂妻の事務所でプロレタリア文学に没

辻千代は1912年10月28日甲賀郡水口町で辻末吉の次女として生まれました。水口尋常小を卒業後、姉の二回生でプロレタリア科学研究

平九郎は戦後も神戸の中央印刷や尼崎印刷などで働きました。1977年近江八幡市ウォーリズ記念病院で平九郎が亡くなつた後、律は故郷の甲賀町で晩年を過りました。

II 中村（辻）千代のこと

中村千代については、『礎をきずいた人びと』（滋賀民報社）に古武家昇平さんが「滋賀ではじめての共産党町議」として紹介しています。

ほかに資料はないかと探していたら

千代の死後、東京で『桑の性の人』

という追悼集が出されているとわかつ

りました。出版社に問い合わせる

と、しばらくして倉庫に一冊だけあ

る、と連絡があり早速購入しまし

た。そこに千代本人が書いた略伝が

掲載されています。没後に机の引き

出しから発見されたものだそうです。

その略伝をベースに彼女の生涯

を紹介します。

「洗心洞」が解散となり、1931年京都の日本電池にタイプピストとして就職します。日本電池はこの頃海軍の潜水艦用電池をつくる軍需会社でした。ここで千代は搾取の現実をさまざまとみて、「感覚的であった私の階級意識は日ご

とに強くなり、科学的社会主义の

思想で武装しなければとの意欲に燃えていた」と手記に書いてい

ます。

このころに後に夫となる中村欣吾と出会います。欣吾は当時京大の二回生でプロレタリア科学研究

所（のちにプロレタリア科学同盟）京都支部の責任者でした。欣吾はプロ科突撃隊を組織し、日本電池や十条の染工場でのビラ撒きや、鐘紡の女工に手製の工場新聞を配布するなどの活動をしていました。プロ科のサークルをつくるために千代と頻繁に出会うなかで二人は恋をはぐくみます。

1932年末、千代は人事係長に呼び出され、説得されるとともに身辺に危険が迫っていることも知られます。会社から呼び出された父に強引に水口まで連れ戻され、軟禁状態におかれました。しかし一ヶ月後に友人の助けで父のスキをついて上京。秋田雨雀を頼つて上京した欣吾を追う形で東京に向かったのでした。

所（のちにプロレタリア科学同盟）京都支部の責任者でした。欣吾はプロ科突撃隊を組織し、日本電池や十条の染工場でのビラ撒きや、鐘紡の女工に手製の工場新聞を配布するなどの活動をしていました。プロ科のサークルをつくるために千代と頻繁に会うなかで二人は恋をはぐくみます。

の後、若松刑務所に三年近く拘留され、控訴審で懲役2年、執行猶予5年となり欣吾は出獄しました。この間千代は、乳飲み子を抱えながら家に下宿人を置いて家計を保ちました。その後欣吾が東京に職を得たため上京しますが、戦況が厳しくなり45年春に、水口の実家に家族三人で疎開し、終戦を迎えた。

共産党滋賀県内初の水口町議に

1947年4月、戦後初めての統一地方選挙、水口町議選に共産党公認で立候補した千代は、12票を獲得。同点の最下位となりました。坂田村の谷村忠助と共に滋賀県で初めての共産党町議となりました。古武家昇平さんはこのころの千代の活動について「税金相談や税務署との闘い、山村問題、城山の自然を守る運動など、週一回党のカベ新聞を発行するなど、戦後の混乱の時期の中で党

協力しあつて数十名の規模で開くなど、今日の水口の党と民主勢力の発展の土台をつくる役割を果たされた」と書いています（『礎をきずいた人びと』滋賀民報社）。

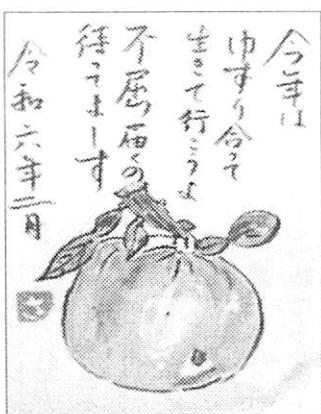
その後、千代は家庭の事情で上京しますが、欣吾とは離婚することになります。

四十歳で保母に、東京の保育運動で活躍

1952年40歳で保母になり、渋谷、三鷹、多摩、青梅の六つの保育園で74歳まで保母、園長をつとめ、東京の保育運動ではリーダーとしての役割を發揮し、活躍しました。『乳児の保育』という共著書があります。追悼集の題名『桑の性の人』について、友人がこう語っています。「葉をみんなおかいこさん食べさせて立派な繭をつくり、絹糸を作り、高級衣服、高級衣料がつくられていく」中村千代はそんな人だった、と。

協力しあつて数十名の規模で開くなど、今日の水口の党と民主勢力の発展の土台をつくる役割を果たされた」と書いています（『礎をきずいた人びと』滋賀民報社）。その後、千代は家庭の事情で上京しますが、欣吾とは離婚することになります。

四十歳で保母に、東京の保育運動で活躍



大津支部
畠山沙智子

繪手紙

内容・太平洋戦争開戦前後に
検挙された人々

調查檢討會

協力しあつて数十名の規模で開く

第13回 治安維持犠牲者

滋賀と朝鮮 空襲の朝鮮人犠牲者 96

河 かおる 空襲の朝鮮人犠牲者

河 かおる

3月10日の東京大空襲、3月13～14日の第一次大阪大空襲があつたので、3月は関連の追悼行事や報道などが多いですね。今年6月1日の関連行事のお知らせ（最後に記載）を兼ねて、今回は空襲の朝鮮人犠牲者について書きます。

アジア太平洋戦争末期における米軍機による日本列島への空爆は、全国163の大小の都市に対してなされ、死者は約50万人、特に被害が大きかった東京、広島、長崎、大阪、兵庫、愛知、神奈川、静岡が86%を占めるとされています（日本大百科全書）。これらの府県はいずれも朝鮮人人口が比較的多く、空襲のターゲットとなつた都市の人口密集地や軍需工場のあるところは特に朝鮮人が多く居住していました。しかしその犠牲者数も、名前もほとんど明らかになつていません。からうじて本で生まれ、両親やきょうだい7

犠牲者名簿がある場合でも、「創氏改名」された名前のため本当の名前がわかりません。

大阪空襲は、死者・行方不明者が1万5千人以上とされており、人口統計や戦災者に占める朝鮮人の割合からの推算で、朝鮮人犠牲者は1200人以上と見られていますが、やはり実態は不明です。

戦後は親戚のいた滋賀県に来て、「口減らし」のように15歳で結婚させられ、野洲で暮らす四人の子どもを育てます。差別へのおそれから朝夫さんが朝鮮人犠牲者の調査を提起して実態調査が行われ、その成果が塚崎昌之編著『大阪空襲と朝鮮人そして強制連行』として2022年3月に刊行されました。その中に、滋賀県野洲市在住の鄭末鮮（チヨン・マルソン）さん（90歳）の証言が収録されています。

鄭末鮮さんは、1933年に日本で生まれ、両親やきょうだい7

人とも大阪に暮らしていた1945年6月7日、第二次大阪空襲で母と生きようだい3人を亡くしました。当時11歳で、学校の同級生は集団疎開していましたが、疎開先で差別されるのではと疎開はしていませんでした。3月の第一次大空襲、6月1日の第二次大空襲でいよいよ危険を感じ、知人を頼って家族で兵庫県へ逃げようと荷物をまとめた矢先、6月7日の第三次大空襲で犠牲になりました。

戦後は親戚のいた滋賀県に来て、「口減らし」のように15歳で結婚させられ、野洲で暮らす四人の子どもを育てます。差別へのおそれから朝夫さんが朝鮮人犠牲者の調査を提起して実態調査が行われ、その成果が塚崎昌之編著『大阪空襲と朝鮮人そして強制連行』として2022年3月に刊行されました。その中に、滋賀県野洲市在住の鄭末鮮（チヨン・マルソン）さん（90歳）の証言が収録されています。

鄭末鮮さんは、1933年に日本で生まれ、両親やきょうだい7人なかつたと指摘します。しかし鄭さんは70歳を過ぎた頃、朝鮮半島の文化を知る活動をしていた中学教員との出会いをきっかけに、本名を名乗つて自分のルーツを受け入れ子どもたちの前で戦争体験を語ることを繰り返す中で、徐々に封印を解いて行つたそうです。私が鄭さんと初めて出会ったのは、チャンゴ（朝鮮太鼓）を演奏する活動に参加した2004年でしたが、その時はもう鄭末鮮と名乗つてらっしゃいました。

2020年9月、中日新聞滋賀版に「異郷に生きて」という連載の1回目に鄭末鮮さんの体験談が掲載されました。さらに同年12月には上中下の3回に渡つて鄭さんの人生が連載されます。この記事が、前述の大坂空襲朝鮮人犠牲者の調査メンバーである塚崎昌之さんに伝わり、塚崎さんによる鄭さんへの聞き取りが実現します。そして2021年6月7日、1945年の同じ日に鄭さんが家族を亡くした大阪大空襲の日に崇禪寺でおこなわれた慰靈法要に、鄭さんは初めて参加しました。境内の「戦災犠牲者慰靈碑」にも亡くなつた家族4人の名前が刻まれることになつたのです。それまで、遺骨もな

いため墓もなかつた鄭さんは、ようやく「ここに来れば家族に会える」場所を得ました。

さらに2022年、劇団タルオルムの金木樹さんが鄭末鮮さんへの取材を重ね、創作劇「キヤンパー」の台本を完成させます。そして2023年3月12日、第一次大阪大空襲から78年目に「大阪空襲78年朝鮮人犠牲者追悼集会実行委員会」が主催の追悼集会で「キヤンパー」が初演されました。

実はこの演劇「キヤンパー」を今年の6月1日に浜大津スカイブランザで上演します。第二次大阪大空襲があつた日から79年目です。一週間後の6月7日が、鄭さんが家族を失つた第三次大阪大空襲。長く「歴史の空白」とされていた大阪大空襲での朝鮮人犠牲者の調査に取り組み、その人が確かに生きた証である名前を取り戻して刻むことに人生を捧げた塚崎昌之さんは、昨年9月、67歳で急逝してしまわれました。79年目の大阪大空襲の日、演劇「キヤンパー」を通じて、鄭末鮮さんと塚崎昌之さん

それぞれの人生と出会い、そしてまだ取り戻されていない名前たちに共に思いをはせる場をつくりたいと思います。鄭末鮮さんもお招きし、2回目の上演後にお話をいただく予定です。クラウドファンディングも実施中です。ご協力よろしくお願ひ申しあげます。

MBCラジオの報道特別番組「ずっと語れなかつた大阪大空襲と朝鮮人」（2022年8月15日放送）で、鄭末鮮さん、塚崎昌之さんの声が聴けます。（約1時間）

（滋賀県立大学准教授）

「緊急事態における国會議員の任期延長改憲」は、衆議院憲法審査会で自民党が条文起草委員会の設置を提案するなどあと一步のところまでている。しかしマスクミニはこの動きを報じない。議員任期延長改憲は單なるお試し改憲ではなく、戦争する國づくりの一環だという本質をみなければいけない」と訴えました。県議会の動きは国会で進行している改憲活動に呼応する動きです。19日の議会閉会日に提案し、採決を狙っています。ただちに反対の声をあげましょ。

県議会で「緊急事態条項」創設 求める改憲意見書の動き

【戦争準備のための任期延長】

我が国では1941年に衆議院議員の任期が立法措置により1年間延期されました。選挙を行うと「举国一致防衛国家体制の整備を邁進しよ」とする決意について、疑いを起さしめぬとも限らぬ」からという理由でした。選挙が延期された間に非戦論を封じて真珠湾攻撃を行い、無謀な太平洋戦争に突入したのです。

【憲法制定議会での質疑】

1946年7月の憲法制定議会において、「緊急勅令」「非常大権」などの規定を設けていないことについて問われた金森国務大臣の答弁。「民主政治を徹底させて国民の権利を十分擁護いたしますために、左様な場合の政府一存に於いて行います処置は、極力之を防止しなければならぬのであります。言葉を非常とすることに藉りて、その大いなる途を残して置きますなら、どんなに精緻なる憲法を定めましても、口実を其處に入れて又破壊される虞れ絶無とは断言しがたい。」



チケット予約

クラウドファンディング

名古屋から帰ってきた自転車

大津支部 芝川源一郎

9月8日、いつものように弁当を

持つてでかけ、浜大津に自転車をお

いて、作業所へ行つた。

4時に終業し、浜大津の自転車置

き場に帰つてみると自転車が見あた

りません。止めたと覚えている場所

付近を探しているとある自転車の前

かごに僕のヘルメットらしいものが

入つっていました。ポケットを探ると

あるはずの鍵がありません。しまつ

た、鍵かけるのを忘れていたか！こ

れは盗られた！と確信し、すぐ目の

前にある浜大津派出所に駆け込みま

した。

まもなく来られた警官に事情を話

すと、防犯登録をしていたら販売店

に電話して聞いてください、とのこ

と。さつそくアヤハに電話して防犯

登録番号、自転車の番号等を教えて

もらつて、盗難自転車として手配し

てもらいました。その際、「もし遠

いところで出でき（見つかつ）て

も、そこまで取りに行つてもひつ（

となります」

と言わされました。

その後も浜大津へ行くたびに見

ていきましたがそれらしい自転車は

ありません。半ばあきらめていま

した。新しく買うお金もなく、こ

れからは作業所に電車で通わない

といけないのかなと考えています。

た。

9月21日朝9時過ぎに電話で起

こされました。「名古屋の熱田警

察署の刑事課です」といわれて、

見つかつたと思いました。でも名

古屋までどうやって取りに行くの

か？と思つていると、「都合がよ

ければ今日の午後に自転車を持つて

ていくので、確認してほしい」と

いわれ、ちょっととびっくり、で聞

いていたこととも違うので、いち

おう確認のため、電話番号を検索

するとなしに熱田警察署の代表

番号なのでほつとしました。

4時前ころにミニバンで届けに

きてくれました。鈴木さんという

ことです。

若い男性警察官ともうひとり女性
警官の二人連れでした。

自宅から浜大津まで現場の写真
を撮るために捜査車両（ミニバ
ン）で送つてもらいましたがその
道中、話を聞きながら刑事さんが
の写真を撮らなかつた浜大津の警
察官に感謝です。

話を聞くと、犯人は9月8日に
自転車を盗つた後、それに乗つ
て、名古屋まで行つたようです。
そして3日後の11日に職質されて
盗難自転車だとわかり捕まつたよ
うです。防犯登録シールをマジッ
クで黒く塗つていて、余計にあや
しいことになつたようです。

犯人は、29歳男性。出身地は関
東地方のようですが、住所はな
く、あちこち放浪している人間の
ようです。そういう人が本当にい
るんだなと思いました。

犯人の顔も見ていないし、特に
感情はわいてこないですが、時給
代が余計にかかつたと思うと、い
らんことをしてくれたな、とは思
います。

刑事さんの話では、犯人は前か
ごにはスケッチブックが入つてお
りそれを乗せたまま名古屋まで

調書